

裏磐梯の絶滅危惧種 花

1・目的

昨年調査したオキナグサ、トキソウ（2カ所）、ミヤケランとセイタカスズムシソウ、エビネ、及びサンリンソウと近くにあったチョウセンゴミシを調査する。

2・結果

磐梯山のオキナグサは例年5月下旬～6月初旬に咲きますが今年は1週間ほど早く咲き6月7日に行ったときは既に咲き終わり種を付けていましたが最後の1輪だけ咲いていた。五色沼のトキソウ、蛇平のセイタカスズムシ、サンリンソウ、ミヤケランなどの調査対象種（地点）については、前年に比べて大きな変化はなかった。

去年、福島大学の首藤さんよりの情報で秋元湖付近のトキソウ群落やエビネ、チョウセンゴミシを調査する。

3・考察

生育にマイナスの要因と思われるもの

- 1) 自然の遷移による
- 2) 園芸の為の採取
- 3) 湿原の開発
- 4) 森林の伐採
- 5) 気候の変化

裏磐梯では主なる原因は1)、2)、3)、5)などが考えられる。

4・対策

- 1) 環境省などが保護に力を入れてもらう。そして盗掘の取り締まりをする。
- 2) 民間の自然ガイドなどを監視員に委嘱し、巡視の協力をしてもらう。
- 3) 当該地点については特定の監視員等のみが把握し、一般への公表は控える。
- 4) 子供達に生物多様性の大切さを教える。

以上のような点をふまえて、早急なる保護対策が必要と思われる。

5・概要

平成27年5月27日	平成27年5月31日
平成27年6月 6日	平成27年6月 7日
平成25年6月27日	平成27年7月25日
平成25年8月24日	

調査者 友坂 豊

調査項目及び結果 以下に示す